

「京都駅東部エリア活性化将来構想(案)」の市民意見募集結果

1 募集期間

平成31年1月29日（火）～平成31年3月1日（金）

2 周知方法

ホームページ掲載，市民意見募集冊子の配布（市役所案内所，各区役所・支所，京都市立芸術大学，市立銅駝美術工芸高等学校，京都美術工芸大学，芸術系大学，京都芸術センター，伝統産業ふれあい館，景観・まちづくりセンター，ひと・まち交流館，大学のまち交流センター，本エリア内及び周辺の市立図書館，児童館，青少年活動センター，文化施設等），イベントでの周知ブース出展 等

3 募集結果

(1) 意見数

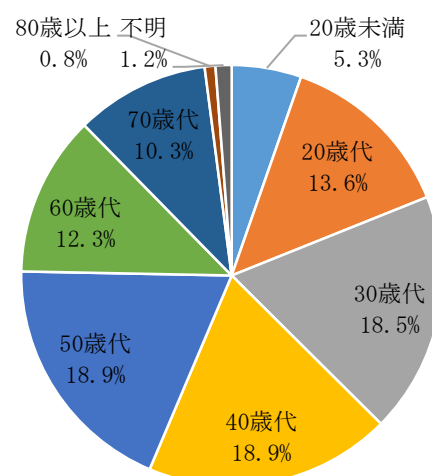
意見者数：243人 意見総数：397件

(2) 御意見をいただいた方の属性

※ 表示単位未満を端数処理しているため，合計と一致しない場合がある。

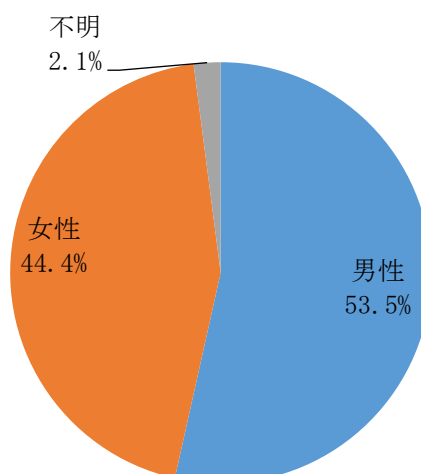
ア 年齢

年代	人数	割合
20歳未満	13人	5.3%
20歳代	33人	13.6%
30歳代	45人	18.5%
40歳代	46人	18.9%
50歳代	46人	18.9%
60歳代	30人	12.3%
70歳代	25人	10.3%
80歳代以上	2人	0.8%
不明	3人	1.2%
合計	243人	100.0%



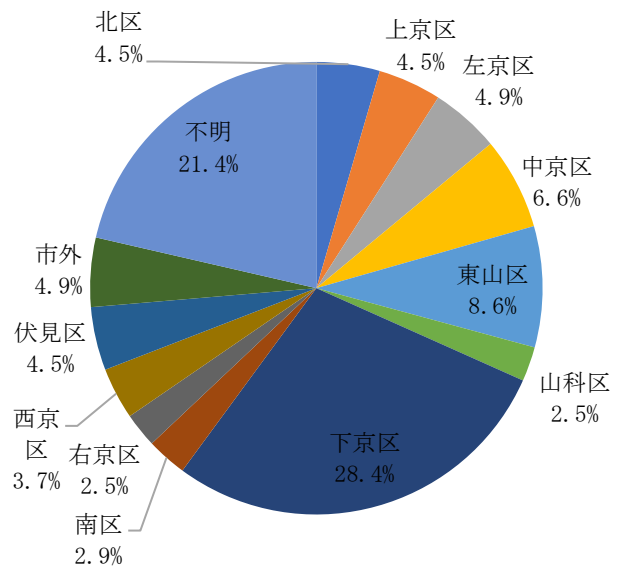
イ 性別

性別	人数	割合
男性	130人	53.5%
女性	108人	44.4%
不明	5人	2.1%
合計	243人	100.0%



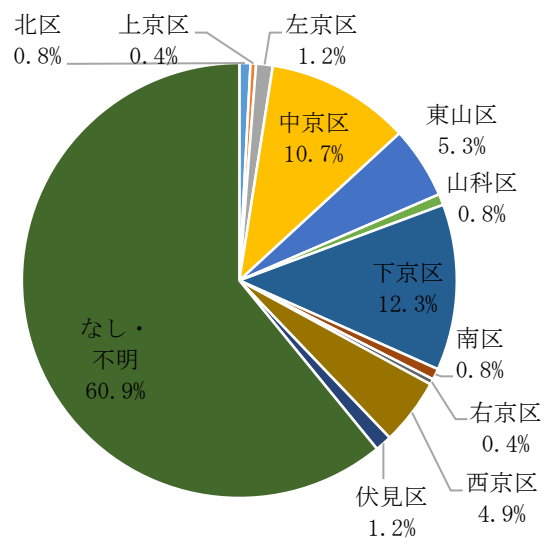
ウ 居住地

行政区等	人数	割合
北 区	1 1 人	4. 5 %
上京区	1 1 人	4. 5 %
左京区	1 2 人	4. 9 %
中京区	1 6 人	6. 6 %
東山区	2 1 人	8. 6 %
山科区	6 人	2. 5 %
下京区	6 9 人	2 8. 4 %
南 区	7 人	2. 9 %
右京区	6 人	2. 5 %
西京区	9 人	3. 7 %
伏見区	1 1 人	4. 5 %
市 外	1 2 人	4. 9 %
不 明	5 2 人	2 1. 4 %
合計	2 4 3 人	1 0 0. 0 %



エ 勤務地

行政区等	人数	割合
北 区	2 人	0. 8 %
上京区	1 人	0. 4 %
左京区	3 人	1. 2 %
中京区	2 6 人	1 0. 7 %
東山区	1 3 人	5. 3 %
山科区	2 人	0. 8 %
下京区	3 0 人	1 2. 3 %
南 区	2 人	0. 8 %
右京区	1 人	0. 4 %
西京区	1 2 人	4. 9 %
伏見区	3 人	1. 2 %
なし、不明	1 4 8 人	6 0. 9 %
合計	2 4 3 人	1 0 0. 0 %



(3) 御意見の内訳

区分		件数
将来構想全般		1 8 件
Ⅰ 構想策定について（背景と目的・基本事項）		9 件
Ⅱ ポテンシャルと課題		1 4 件
Ⅲ 京都駅東部エリアの将来ビジョン		3 5 件
Ⅳ 将来ビジョンを実現するための方策		2 9 2 件
内 訳	方策全般	3 5 件
	方策 1	8 5 件
	方策 2	7 9 件
	方策 3	9 3 件
Ⅴ 構想実現に向けて		2 0 件
その他		9 件
合計		3 9 7 件

(4) 御意見の区分

A 答申案に反映するもの	…	1 8 件
B 答申案に記載済み又は趣旨に含まれ、賛同いただいているもの	…	2 1 4 件
C 将来構想の推進に当たり、参考とするもの	…	1 5 6 件
D その他、市政運営等で参考とするもの	…	9 件
合計		3 9 7 件

(5) 主な御意見

ア 「将来構想全般」

- ・ 本構想に賛同する。
- ・ 本構想に期待している。
- ・ 総花的にならず、施策は有用なものに絞られている。本構想案を軸に活性化を進めてほしい。

イ 「Ⅰ 構想策定について」（背景と目的・基本事項）

- ・ 堀川・烏丸間は西部エリアでもあり、東部エリアと重複している。
- ・ 京都市が推進しているレジリエンスやSDGsの観点からは、非常に有益な考え方であり、本構想にも記載が必要ではないか。

ウ 「Ⅱ ポテンシャルと課題」

- ・ 観光と市民生活が調和していることが大事である。

エ 「Ⅲ 京都駅東部エリアの将来ビジョン」

- ・ 京都市立芸大の移転は、まちが大きく変わるきっかけになる。期待している。
- ・ 京都市立芸大や駅前という立地を生かし、東京や大阪ではなく、京都ならではのまちづくりとして、今後に大いに期待したい。
- ・ 東山区にもJRの駅ができれば良い。
- ・ 崇仁地域が文化と芸術があふれるまちとなることを期待している。

オ 「Ⅳ 将来ビジョンを実現するための方策」(方策全般)

- ・ 京都市立芸大の移転整備費は、京都が発展するための必要な投資であり、京都市立芸大の移転に賛同する。
- ・ 京都駅前にただの大学ではなく、芸術大学ができることは良い。
- ・ 京都市立芸大の移転は不要である。
- ・ 京都市の予算が厳しいのであれば、京都市立芸大と銅駝高校の移転を考え直してほしい。

カ 「Ⅳ 将来ビジョンを実現するための方策」(方策1)

- ・ 地域で交流が少ないので、京都市立芸大の学生の力を活用してもらえると良い。
- ・ 「子どもたちが文化芸術や伝統産業に触れ、学び体験する機会の提供」は重要だと思うので、しっかり進めてほしい。
- ・ 高瀬川の生物多様性を維持するような取組があると良い。
- ・ 芸術家が空き家を安く利用できる仕組みがあると良い。

キ 「Ⅳ 将来ビジョンを実現するための方策」(方策2)

- ・ イベントを開催するなどして、気軽に来てもらえるエリアになってほしい。
- ・ 京都駅から東山区に続く回遊性が向上することを期待する。
- ・ このエリアにある文化芸術資産を、効率よく回遊するための交通手段を考えるべきではないか。
- ・ 歩道と道路の補修工事をしてほしい。

ク 「Ⅳ 将来ビジョンを実現するための方策」(方策3)

- ・ 地元に受け入れられ、景色に溶け込んでいくようなアート展示が見られるようになれば良い。
- ・ 京都市立芸大の移転は、都市景観の向上に大いに寄与するので、しっかりと進めてほしい。
- ・ 若い人が集まるカフェやレストランを作ってはどうか。
- ・ 公園があると良い。

ケ 「Ⅴ 構想実現に向けて」

- ・ 京都駅東部エリアは、これまであまりスポットを浴びていない地域なので、今後このエリアにおける活性化に関する取組を周知・徹底してほしい。
- ・ 下京渉成小学校区の5学区によるエリアマネジメントが中心となって、将来構想を具体化していく必要がある。

コ 「その他」

- ・ 廃校した学校の利用について、当該学区以外の利用者の拡大を図ってはどうか。
- ・ このエリアを禁煙にしてほしい。